

# きみかけの森ひきやく便

特定非営利活動法人 きみかけの森  
〒632-0113 奈良市都祁馬場町566番地  
TEL:0743-84-0300 FAX:0743-84-0320  
E-mail:kimikagenomori@adagio.ne.jp

## 感動の柿落とし-おかげさまの三日間でした

2010年  
**7月 18 19 20**

特定非営利活動法人きみかけの森  
理事長 森岡正宏

今年3月立ち上がったNPO法人きみかけの森の最初の活動ともいえるサロン「木屋庄」のこけら落としの催しが、7月18日(日)から7月20日(火)まで三日間開催されました。梅雨が明けたばかり、猛暑の日々でしたが、木の香りと心地よい風が吹き抜ける都祁馬場町のサロンは連日大勢の人が駆けつけ、はじけるようでした。



次に、「きみかけの森が目指す森」と題して岩本泉治さんからパワーポイントを使って興味深い森林活用や森の生態について解説がありました。



**初日は、**月ヶ瀬地区「やまびこ太鼓」の皆様による祝い太鼓とともに荒井敦子さんの司会で始まり、理事長の私から工事を担当した「森と人のネットワーク・奈良」の大工さんらに感謝状を渡し、挨拶「ここは昔我が家家の納屋だったところ、それをうまく改装してこんな素敵なサロンを作っていただいた。先祖が材木商を営んでいたその時の屋号「木屋庄」を使わせてもらった、この場所をこれから音楽会・講演会・懇親会など地域の拠点として大いに活用していただきたい」と。



そして、奈良大学教授寺崎保広先生から「長屋王と都祁氷室」というテーマの講演があり、今のイトヨーカドーの場所から出土した木簡を解読した結果長屋王の屋敷跡だということがわかり、また都祁と深い関わりがあったことが証明されたなど歴史のロマンを感じるお話をありました。

## きみかけの森ひきゃく便

アカデミックな講演の後は、荒井敦子副理事長の歌声コンサート、素晴らしい歌声と彼女のユーモラスなトークに会場は大いに盛り上りました。



**二日目** のメインゲストは近畿大学名誉教授の福岡正博先生で、「ガンは克服できる」と題してご講演いただきました。福岡先生は地元都祁地区針ヶ別所のご出身で、肺癌治療の第一人者といわれている方です。「医学は日々進歩している。抗がん剤治療のみならず緩和ケアのアプローチ、セカンドオピニオンの推進などでガンを克服できる。」と大変勇気づけられるお話をでした。



**三日目** のゲストもビッグな方、日本芸術院会員・洋画家の絹谷幸二先生、山林までお連れすると、ひんやりした山の空気とせせらぎの水音を聞いて「ここに僕のアトリエを作りたいな。」とおっしゃいました。講演もユーモラスで「奈良の魅力」を芸術家の視点でズバリ、そして「森岡さんが政治家の世界を引退したのは正解、ふるさとで自然と向き合ってゆくのはいいことです。」と。



サロンの外では、地元都祁の人達が野菜・お餅・赤飯・チラシ寿司・かやくご飯・卵など安価でおいしいものを、また知り合いの人たちがスズランの花を模したアメリカンフラワー・トールペイントの眼鏡ケースなど、さらには池田圭俊副理事長が撮った花の写真の絵葉書などを販売していただき好評でした。



**三日間で** 約150人の方がお見えになりました。この中には、荒井敦子副理事長が主宰する室生の「音楽の森」やまほろば合唱団の皆さんも駆けつけてください、今後のお互いの交流が楽しみであります。そのうえ、行政から奈良県の健康福祉部長、協働推進課長、奈良市都祁地区行政センター所長なども顔を見せてください、NPO法人「きみかけの森」に期待していただいていることに感謝感謝であります。

また、この三日間のためにずいぶん前から準備に関わっていただいた方々、その中には土砂降りの雨の中、庭の剪定や草むしりをしていただいた人達、ピアノの調律に一日汗をかいてくださった白井さん、お客様を山の中にご案内するため草刈をしていただいた方など言葉に尽くせないようなご苦労をいただきました。そして当日も約30人の皆様が猛暑の中あらゆる分野で支えてくださいました。ここから御礼申し上げます。